



CQM(超短期経済予測モデル)

稲田義久 (APIR 研究統括)

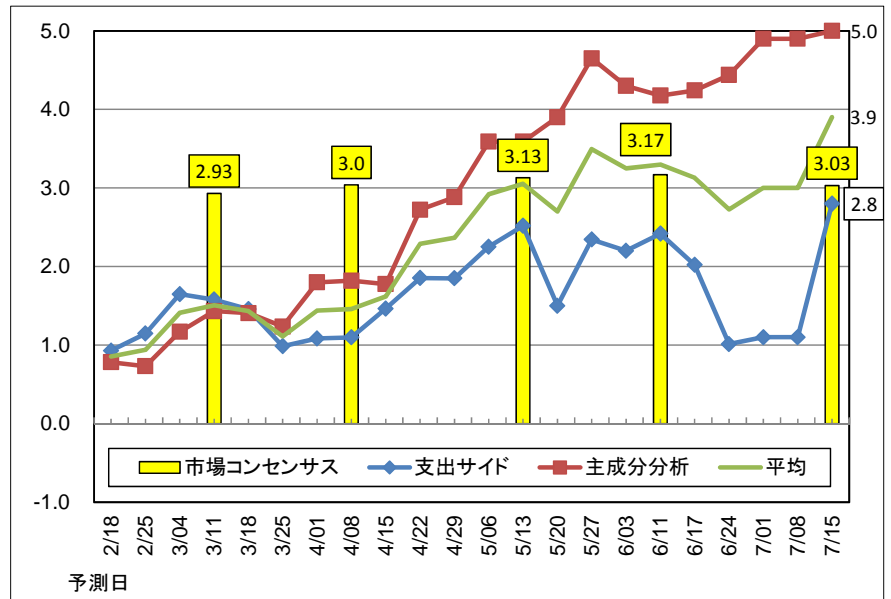
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail:inada-y@apir.or.jp

日本経済(週次)予測(2013年7月15日)

ポイント

- ▶先週発表されたデータは、民間最終消費支出、民間企業設備、民間企業在庫品増減、政府最終消費支出及び純輸出の予測に影響を与える。
- ▶5月の消費総合指数は事前予測を大きく上回った。このため、4-6月期の実質民間最終消費支出の予測値は先週から大幅上方修正された。
- ▶5月の民間機械受注は2ヵ月ぶりの前月比プラス、一方、5月の資本財出荷指数(確報値)は速報値から上方修正された。この結果、4-6月期の実質民間企業設備の予測値も先週から上方修正された。
- ▶6月の輸出入物価指数と5月の国際収支状況が更新された結果、4-6月期の実質純輸出の予測値は先週から上方修正された
- ▶今週のCQMは4-6月期の実質GDP成長率を前期比年率+2.8%と予測する。先週の予測から大幅上方修正された主因は、民間最終消費支出と純輸出の上方修正である。

CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率
2013年4-6月期 (%、前期比年率換算)



<民間最終消費支出と純輸出が引き続き4-6月期経済を牽引する>

先週は6月の景気ウォッチャー調査、消費動向調査、公共工事請負金額、国内企業物価指数、輸出入物価指数、5月の鉱工業生産指数(確報値)、第3次産業活動指数、消費総合指数、情報サービス業売上高、機械受注及び国際収支状況が更新された。これらのデータは、民間最終消費支出、民間企業設備、民間企業在庫品増減、政府最終消費支出及び純輸出の予測に影響を与える。

5月の消費総合指数は前月比+0.6%上昇し2ヵ月連続のプラスで事前予測を大きく上回った。このため、4-6月期の実質民間最終消費支出の予測値は先週から大幅上方修正された(前期比+0.3%→同+0.7%)。5月の民間機械受注は前月比+10.5%と2ヵ月ぶりのプラスとなり、一方5月の資本財出荷指数(確報値)は同+1.4%となり速報値から上方修正された。この結果、4-6月期の実質民間企業設備の予測値も先週から上方修正された(前期比-1.1%→同-0.6%)。

6月の輸出入物価指数は為替レートが前月比円高に振れたため下落した。この結果、実質輸出入の伸びは先週の予測からともに上方修正された。加えて5月の国際収支状況が更新された結果、4-6月期の実質純輸出の予測値は先週から上方修正された(9.843兆円→10.621兆円)。

今週のCQM(支出サイド)は、4-6月期の実質GDP成長率を前期比+0.7%、同年率+2.8%と予測する。先週の予測(+1.1%)から大幅上方修正された主因は、民間最終消費支出と純輸出の上方修正である。今週に5月の建設総合統計が発表されるが、公共工事は好調な結果が予想される。実現すれば4-6月期経済は前期に匹敵できるくらい好調な結果となる可能性が高まる。

- ・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。
- ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。
- ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 contact@apir.or.jp 06-6485-7690